

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

10月号 平成28年10月25日（火）発行

◀ いのら チャレンジ（挑戦） 感動 感謝 ▶

子どもたちのがんばりに感動

校長 平野 浩

鹿児島県理科に関する研究記録展で、6年生の國分秀晟君の作品が県議会議長賞に輝きました。テーマは、『奄美の土を使ったオリジナル配合の土で栽培』です。奄美の土は赤土で粘土質のため水が浸透せず花が育ちにくいという点に着目し、「土をやわらかくして水通しが良くなるようにすれば花が良く育つのではないかと考え、1年間にわたって研究したものです。赤土に粒の大きい土を混ぜてベースになる土をつくり、それに配合を考えて牛糞やたい肥を混ぜると育ちやすくなる」として実践をまとめています。現在、本校では國分君の研究を活かし、一人一鉢の土や花壇の土をつくって花を育てています。

疑問点を見つけ、それを解決する方法を考え、地道に努力していく姿は、とても素晴らしいものです。そして、私が更に感動しているのは、國分君のがんばりが他の児童にも影響を与えていることです。朝のボランティア等で学校をきれいにすることは継続してなされていますが、ここ1年、花の世話をする子どもが増えているのです。昼休みや放課後に土作りを手伝ってくれる子どももたくさんいます。私が校庭で草取りをしていると、「校長先生、手伝います」と言う言葉が自然と聞かれます。とてもうれしいことです。こういう子どもたちなら、やさしい気持ちを持ち、自然を愛し、ふるさと奄美を大切にしてくれるのではないかと思います。



本校は情操教育の取組として「花と緑に囲まれた学校」「歌声の響く学校」を目指し、日々の教育活動を行っています。地域の方々が学校の周りを通られる時に、きれいな花が咲いていたり、子どもたちの歌声や元気な声が響いていたりするような学校を目指していきたいと思えます。

11月1日から7日は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間です。ぜひ学校に来ていただいて子どもたちの様子や学校の環境等を見ていただければ幸いです。お待ちしております。

大運動会でもがんばりました!

10月2日（日）に赤木名幼稚園、赤木名小学校、赤木名校区合同の大運動会を行いました。小学校は「白組」が、校区は「外金久校区」が昨年に引き続き優勝しました。

小学生の運動会のテーマは、「魅せろ団結！我らの勝利をつかみとれ！！」でした。幼稚園の親子遊戯「ウンタカダンス」や低学年のダンス「ジンギスカン！」はとてもかわいらしく元気いっぱいでした。高学年の表現「赤木名ソーラン2016」は高学年らしいきびきびとした踊りや動きが見られました。他にもかけっこや団体種目、全校綱引き、校区民と踊った八月踊り（本年度は外金久集落の皆さんにお世話になりました）、1年・6年親子種目などどれも見ごたえのあるものでした。



特に、テーマである「団結」の点では、応援団の活躍が素晴らしかったです。運動会当日までに朝や昼休み、放課後等に練習を積み重ね、息の合った演技を披露するとともに、他の児童と一体となって応援をがんばっていました。白組・赤組のまとまりが例年にも増してあったように思います。

この運動会を通して、子どもたちのがんばりはもちろんですが、学校と地域の連携の重要性を改めて感じました。準備や当日の係り等に保護者や校区の方々に協力していただき、運動会を盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。今後も、地域に根差した学校教育を進めてまいります。ぜひ、子どもたちを温かく見守っていただければと思います。

毎月第3日曜日の午前中は、
家庭の日・市民清掃の日

はな にお えだ なりふ ちゅ こーろ
“花ならば匂い 枝ぶりやいらん 姿振りやいらん人や心”

(島口教訓カレンダーより)

花は姿形よりも匂いが尊ばれる。そのように人間も容貌よりも心の美しいのが尊いのだ。